

(仮称) 南松山病院 照明器具 LED 化工事

工事仕様書

令和 6 年 1 1 月

1 業務内容

- (1) 本業務は、1号館、2号館、管理棟、西駐車場、立体駐車場について、照明器具のLED化を実施するものである。
- (2) 受注者は、契約締結後、令和7年度までに照明器具の取替工事を施工する。
- (3) 受注者は、施工に当たり必要となる関係法令に基づく届出等の事務、施工監理及びその他の関連業務を実施する。
- (4) 受注者は、撤去した設備・資材等を適切に運搬・廃棄する。
- (5) 敷地内の照明器具は、原則として全てLED照明への取替を行う。現在、管球を取り外し、点灯を間引きしている照明器具についてもLED照明への取替を行う。また、既設のLED照明のうち、設置後10年を経過していないものは交換を行わない。
- (6) 既存器具が調光器を使用している場合は、調光対応とすること。
- (7) ガーデン灯は交換を行わない。
- (8) 街路灯は既設ポールを流用し、灯具のみ交換を行う。

2 工期

- (1) I期工事：令和6年12月1日 ～ 令和7年3月22日（竣工検査とも）
- (2) II期工事：令和7年 4月1日 ～ 令和8年3月24日（竣工検査とも）

3 照明器具の仕様

(1) 共通

- ア 使用する照明器具は、一般社団法人日本照明工業会の正会員である国内製造企業の製品とする。
- イ 照明器具は、新品の照明器具とし、「公共施設用照明器具」の型番を取得しているものがあれば優先して使用するよう努めること。
- ウ 平均演色評価数（Ra）においては、現状の照明器具と同等の製品とすること。
- エ 光源寿命は、40,000時間以上（光束維持率70%以上）の製品とする。
- オ 既設照明器具が防雨・防湿・防塵器具の場合は、同等以上の性能を持つ器具を設置すること。
- カ 既設照明器具と同等の照度が確保できる照明器具とすること。
- キ 光色は、原則として既設照明器具と同じとする。
- ク 既設照明器具がステンレス製である場合などは、仕様を同等とすること。
- ケ 非常用照明器具及び誘導灯等は、関係法令に基づいた仕様とする。

(2) 直管形蛍光灯器具改修仕様

ア 光束値

既設の直管形蛍光灯40形2灯器具については、光束4,000ルーメン以上、既設

の直管形蛍光灯 40 形 1 灯器具については、光束 2,000 ルーメン以上を確保すること。

イ 光色

光色は、原則として昼白色（5,000 K 程度）とするが、既存照明と光色が異なる箇所については事前に監督員に確認を行うこと。

ウ その他

電源装置の出力電流波形、配光、ランプ本体耐熱性、絶縁抵抗・耐電圧、高調波、電磁波については、使用に当たってちらつきや電波雑音など特段の問題を生じないこと。

(3) その他の照明器具改修仕様

ア その他の蛍光灯、ダウンライトについては、現状と同等の光色、光束、機能を有する LED 灯に取り換えること。

イ 誘導灯及び非常用照明器具についても、LED 光源の誘導灯及び非常用照明器具に取り換えること。なお、原則として同等以上の性能を持つ器具を設置することとするが、所轄の官公庁との協議により、現行法令に適合することが確認できればこの限りとし

ない。

4 工事仕様

- (1) 現地調査及び詳細設計において、回路調査等を十分に実施し、作業を安全かつ確実に実施すること。
- (2) 設置作業に使用する材料は全て新品とする。
- (3) 設置作業にあたっての安全管理については、監督員と打合せを行い、受注者の負担で安全確保に必要な措置を講じること。また、設置作業により生じた施設設備、電気機器等への不具合や事故については、受注者の負担により対処すること。
- (4) 設置作業において発生する軽微な工事、補修等については、本契約の作業範囲として実施すること。
- (5) 停電等、運営上必要な機能を停止する場合は、事前に監督員及び施設管理者と調整し、事故及び紛争等を防止すること。
- (6) 搬出入経路については、施設管理運営上の支障に留意し、監督員及び施設管理者の承諾を得ること。
- (7) 作業車、運搬車等の車両の駐停車場所や、資材置場、荷捌き場、搬出物の仮置場等の本市敷地内における必要な場所の確保については、事前に監督員及び施設管理者の承諾を得ること。なお、施設によっては駐車車両の駐車スペースを、受注者負担にて近隣駐車場を確保すること。
- (8) 作業時間帯は、原則として午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

- (9) 個別の作業場所での作業時間帯の決定に当たっては、監督員及び施設管理者の指示に従うこと。
- (10) 施工のために天井に穴あけ加工が必要な場合は、アスベスト含有みなしとして対応し、事業者負担で行うこと。
- (11) 事業者で改修した照明器具蛍光灯の誤使用が懸念される場合には、判別できるシールを貼付すること。必要に応じて、交換目安時期を明示したシールを貼付すること。
- (12) 作業中は粉塵の飛散に十分注意し、必要な養生を行うこと。
- (13) 作業終了後に床等の清掃を行うこと。
- (14) 設置作業の前後に当該照明回路の絶縁測定を実施し、作業による絶縁劣化等がないことを書面で報告すること。
- (15) 誘導灯・非常照明の交換については、関係法令を順守するとともに、所轄の官公庁との協議及び届出手続を行うこと。
- (16) 撤去した既存照明器具、安定器、ランプ等の取扱いについては、関係法令を遵守し受注者で処分するものとする。PCBを含む安定器があった場合には、取扱いについて別途、監督員と協議するものとする。
- (17) 本工事に必要な電力は原則として請負者負担とする（工具の充電等に必要な電源は原則として施設の利用を認めない。必要に応じ、請負者によって可搬型発電機等を準備すること。）。やむを得ず、施設のコンセント等を使用する場合は、使用する工具又は電源コードリールに漏電対策、漏電ブレーカーを備えたものに限る。詳細は別途協議による。
- (18) 本仕様書に記載しない事項については、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版／国土交通省大臣官房 官庁営繕部監修により補完する。
- (19) 本仕様書に明記のない事項に疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

5 着手前に提出する書類

- (1) 工事施工計画書
- (2) 労働関係法令遵守状況報告書
- (3) 下請負計画等の通知書

6 設計監理者

本業務の設計監理は、(株)大建設計工務が行う。

7 工事施工計画書

病院関係者と事前協議のうえ、工事施工開始前に次の内容を記載した工事施工計画書を作成し、監督員及び施設管理者の承認を受けること。

- (1) 工事日時（各階・各部所ごとに作成）
- (2) 工事範囲及び停電範囲

- (3) 施工図面及び施工する照明器具一覧
- (4) 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の所属、氏名、緊急連絡先
- (5) 施工実施者の所属及び人数
- (6) 物品の搬出入経路
- (7) 車両の入退場経路、作業車及び運搬車等の車両の駐停車場所、資材置場、荷捌き場、搬出物の仮置場
- (8) 駐車する車両の種別及び台数、駐車時間帯
- (9) 施工に支障となる既存機器、物品の一覧（本請負内での運搬作業の要否は別途協議による。）
- (10) 廃棄物の処分計画
- (11) 下請負契約等の通知書

8 照明器具の保証等

- (1) 照明器具の保証期間はメーカー保証期間とする。
- (2) 保証期間内に照明器具の不具合が発生したときは、迅速かつ適切に物品の取替、代替及び修理等を行うこと。
- (3) 契約期間終了後に不具合等が発生した際の連絡先を記載した体制表を提出すること。

9 完成図書

工事完了後に以下の書類を作成し、病院に引き渡すものとする。

- (1) 完成図書（各施設 2 部ずつ）

内容：社内検査報告書、照度測定結果及び各試験成績書、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は受渡確認票（電子マニフェスト）の写し、産業廃棄物運搬業許可証の写し、産業廃棄物処分業許可証の写し、産業廃棄物処理委託契約書の写し、PCB有無報告書、工事写真、打合せ記録、工事日報、官公庁届出書の写し、機器取扱説明書、保証書、下請負契約等の通知書（工事完了時点のもの）、連絡体制表

- (2) 完成図

内容：二つ折り製本（A3 縮小 2 部）・データ（PDF 及び CAD）を提出すること。

10 その他

- (1) 受注者は、施工した照明器具の仮使用を認めること。
- (2) 受注者は工事目的物及び工事材料等を対象とする建設工事保険又は組立保険及び第三者に対する対人・対物事故による法律上の損害賠償責任を負担できる請負業者損害賠償責任保険に加入すること。

以上